

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2808号 2016.1.8 発行

あなたの性格、脳の画像でピタリ判定 研究者ら事業開始 朝日新聞 2016年1月7日

脳画像から性格評価

脳の画像をもとに、あなたの性格を評価します——。こんなサービスを、脳研究者らのベンチャー企業が始めた。約2千人分の脳画像と性格診断テストの結果から、協調性や勤勉性を分析する。

事業を始めたのは「アラヤ・ブレイン・イメージング」。京都大出身で、英サセックス大准教授を務めた認知神経科学者の金井良太さんが、静岡大准教授の狩野芳伸さん（知能情報学）らと立ち上げた。

脳は部位ごとに役割が異なり、形には個人差がある。個別の部位がどのように影響しているのかは十分に解明されていないが、脳全体の画像を「機械学習」という手法で数多く分析すると、わずかな形の違いと性別や能力、性格に何らかの関係があることがわかってきた。

金井さんらは、性格診断テストの結果と脳画像がそろった約2千人分のデータを機械学習させ、画像から性格や脳年齢を割り出すシステムを開発。脳ドックなどで撮影したMRIの画像をもとに、協調性や適応能力、否定的な感情を持ちやすい傾向など5項目について、点数化できるようにした。脳の各部位の相対的な大きさも測れる。

脳年齢や大きさの評価は無料、性格の評価は約2万5千円。画像が鮮明な場合、性格診断テストとほぼ同精度で評価でき、データが蓄積すれば、さらに精度が高まるという。金井さんは「このサービスで信頼を高め、将来は脳の病気の診断や予防のサポートにつなげたい」と話している。詳細はアラヤのHP (<http://www.araya.org>)。(阿部彰芳)



自販機でも爆買い期待、外国語対応が相次ぎ登場

読売新聞 2016年1月7日

訪日外国人におすすめ商品を案内する機器が自販機に併設された（6日、東京都台東区で）＝稲垣政則撮影



飲料各社が、外国語対応の自動販売機を増やしている。

急増する訪日外国人客に利用してもらい、自販機での販売数量の減少に歯止めをかけたい考えだ。訪日客の「爆買い」が自販機にも及ぶか注目される。

アサヒグループホールディングスは6日、東京・浅草の雷門そばの自販機に、英語の音声で客とやりとりしながら、おすすめの飲み物を紹介するタブレット型端末内蔵の機器を併設した。例えば、コーヒーが飲みたい場合、端末から流れる音声に応じ、砂糖やクリームの有無などの好みを答えると、条件に合った商

品が端末に表示され、隣の自販機で買える仕組みだ。

タイから来たベラさん（23）は「楽しみながら商品を選んで、便利です」と笑顔を見せた。

眠る太古木和菓子に 就労支援施設が開発 町も応援、自立への起爆剤に



佐賀新聞 2016年01月06日
和菓子「上峰のうた」。左から「樹々のささやき」「霧のしずく」「太古のかさね」。パッケージのひもを解くと紙製の太古木が起き上がる

国天然記念物に指定されている、佐賀県上峰町堤の地下に眠る約9万年前の太古木をモチーフにした和菓子「上峰のうた」が完成した。開発したのは町社会福祉協議会が運営する就労支援施設「ふれあいかん」。売り上げは施設利用者の工賃とし、障害者の自立につなげていく。町も認定銘菓として応援し、企画した職員の藤野靖裕さん（56）＝佐賀市＝は「空港にお土産として並んでいても恥ずかしくない仕上がり」と胸を張る。

菓子は、太古木をかたどったロールケーキ「樹々のささやき」、太古木の保全に一役買った地下水をイメージした羊羹（ようかん）と求肥（ぎゅうひ）餅の「霧のしずく」、地層から着想を得た浮島の「太古（とき）のかさね」の3種類。味はもちろんパッケージにもこだわった。ひもを解くと紙の模型の太古木が起き上がり、上峰町の地図も現れる。各500円で、パッケージ付きの3種セットは1500円（いずれも税抜き）。ふるさと納税の返礼品としても売り出し、1月5日までに約80セットが売れた。

と紙の模型の太古木が起き上がり、上峰町の地図も現れる。各500円で、パッケージ付きの3種セットは1500円（いずれも税抜き）。ふるさと納税の返礼品としても売り出し、1月5日までに約80セットが売れた。

ふれあいかんの定員は20人で、現在は町内外から知的障害や身体障害のある20～50代の16人が利用している。工賃は弃当事業の成功などで右肩上がりだが、昨年度の実績は月約1万7千円。和菓子の売り上げの約2割は工賃に反映できる見込みで、藤野さんは「利用者1人当たりの工賃をまずは本年度で2万7千円ほどに上げ、ゆくゆくは県が最終目標とする3万円を超え、4～5万円にしたい。そうすれば、障害者年金と合わせて自立した生活ができるようになる」と語る。和菓子をして販路を拡大し、障害者の自立実現の起爆剤にしようと意気込む。問い合わせはふれあいかん、電話0952（51）1032。

治療怠り転院で死亡 遺族が病院を提訴

河北新報 2016年1月6日

総合南東北病院（宮城県岩沼市）に入院していた宮城県亶理町の女性＝当時（80）＝が死亡したのは、病院が適切な治療をせずに転院させたためだと、女性の遺族が5日までに、病院を運営する医療法人に100万円の損害賠償を求める訴えを仙台地裁に起こした。

訴えによると、女性は細菌による感染症などで入院し、2014年12月15日ごろ退院。翌16日に岩沼市の別の病院に移ったが、約1カ月半後に感染症などにより急激に腎機能が悪化し、肺に水がたまって呼吸不全で死亡した。

遺族側は「南東北病院は退院当日も女性を感染症と診断しており、呼吸不全になりやすかったのに、認知症が進んだ女性は入院診療に手間がかかるとして退院させた」と主張している。

医療法人は「弁護士に任せているのでコメントできない」と話している。

市販薬の成分知って 109種を写真入りで紹介の冊子発行 産経新聞 2016年1月6日

風邪薬や痛み止めなどの市販薬109品目の成分と用法を、外箱などのカラー写真入りで紹介した冊子「クスリ早見帖」を、医療関係の調査研究などを手掛ける会社「プラメドプラス」(京都市)が発行、医療現場での活用を呼び掛けている。

同社の平憲二社長は内科医。冊子は、今も病院の救急外来などで患者の診察を続ける平さんの経験から生まれた。

平さんによると、風邪など体調不良で受診する患者の多くは「市販薬を飲んだが治らなかったのもので病院に来た」と言う。飲んだ薬が現在の病状に影響を与えている可能性があるため、診察で何を飲んだのか聞き出そうとするが、薬の名前を正確に言える患者は少ない。

例えば「飲んだのはパブロン」までは覚えていても、パブロンと名が付く市販薬は何種類もあり、含まれる有効成分もさまざま。つまり効果や副作用も異なる。

市販薬の外箱などの写真を見せると、ほとんどの患者がすぐに「これ」と特定できた。そこで、受診前に患者が服用する機会が多い風邪薬と解熱鎮痛薬を一覧できる冊子を平成26年に創刊。掲載品目を増やし27年版も発行した。

市販薬は、医師が処方する医療用医薬品に比べ効き目が弱いとされ、患者も比較的気軽に服用してきた。しかし近年は医療用と同じ量の有効成分を含む商品が登場するなど状況が大きく変化。「最新の情報を現場の医療者にぜひ知ってほしい」と平さんは話す。

早見帖は28年も発行予定。27、28年版ともA4判、34ページ、1080円。問い合わせはプラメドプラス社にメール(info@plamedplus.co.jp)で。

〈3〉東京大学教授(障害学) 福島 智さん(53) 判断するのは常に自分



読売新聞 2016年01月05日
福島智さん(東京都目黒区) =横山就平撮影
福島さんが点字タイプライターで打った言葉(上)を、通訳者が文字に書き起こした。
「智」は自筆

それは18歳の時の年末から、翌年初めにかけてのことでした。

この苦悩には意味がある、あるんだろうと仮定して生きていくしか、俺には生きる道はない――。

そんなことを書いて、1981年2月、筑波大付属盲学校(現・筑波大付属視覚特別支援学校)の同級生に送った手紙があります。その数週間後、私は視覚と聴覚が完全になくなる「全盲ろう者」になりました。

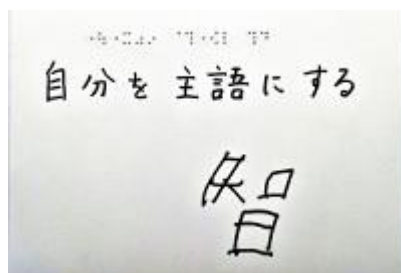
最初に病で右目を失明したのは3歳の時。9歳で左目も。もちろんショックでしたが、その時は音の世界に順応していきました。落語を聞いて笑い転げたり、トランペットやピアノを演奏して楽しんだり。

けれどその音の世界も消えていった。14歳で右耳が聞こえなくなり、残った左耳の異常に気付いたのが18歳を迎える80年の12月頃。

聴力が落ち、盲ろうになるまでの約3か月、読書や思索に没頭しました。カフカ、トルストイ、大岡昇平。手にした点字書は約40冊。その中に芥川龍之介の「歯車」がありました。人生に絶望した主人公が死に向かうことを暗示する話です。でも私はこうはならないぞと思いました。もし自分に課せられた使命があるなら、果たさなければと。

ただ開き直りの気持ちもありました。どん底に沈み、耳もこれ以上悪くなりようがないわけですから。

光と音を失った時、地球上から引きはがされ、暗く静かな宇宙空間にひとり投げ込まれたように感じました。私を他者とつながらる世界に戻してくれたのが、お袋の思いつきで生まれた「指点字」でした。



両手の人さし指、中指、薬指の6本の指を点字タイプライターの六つのキーに見立てて、情報伝達する方法です。互いの指を使って会話ができる。当時この方法を公表していた人はおらず、世界で初めて私たちが用い始めたものでした。

81年の春、学校に戻ると、友人たちも指点字を覚えてくれた。私に残されたのは「言葉」だけでしたから、救われたと思いました。

ただその後、再び深い孤独を味わうことになります。耳が聞こえていた時のコミュニケーションと根本的に異なっていたのです。

指点字で手に触れられた時だけ1人の人と話せる。いなくなると、私はまた孤独に戻る。さらに私以外に2人、3人いると、会話自体がわからなくなった。

けれどある日、3人で喫茶店で話していた時、先輩が「指点字通訳」という手段を考えました。

誰がこう話した。それに誰がこんなふうに答えた。そんなやりとりを逐一通訳してくれ、発言者と内容がわかると、私のコミュニケーションは一気に変化し、孤独ではなく、自分は世界の中にいると思えたのです。

人にとって相手がわかるコミュニケーションは生きるうえで不可欠なものなのだと強く実感もしました。

喪失から再生した時、さて、それからどうするか。18歳の夏、私はひとつの決断をします。大学進学です。

当時の日本でそんな盲ろう者はいません。父親は「さらに苦勞することはない」と猛反対しましたが、「僕にも生きがいが欲しいんや」と反論すると、受験を認めてくれました。

周囲の支えがあって生きてきた私ですが、大人を自覚したのはいつだったか振り返ると、この時だと思えます。あそこで諦めていたら現在の私はなかった。判断する時の主語は常に「自分」であることが大事だと今、学生たちにも伝えています。

もうひとつこれまでを通して思うことがあります。障害があるからこそみえる、できることがあります。18歳の頃は「仮定」でしかなかったけれど、やはり苦悩することには意味があった。そう感じています。（聞き手・淵上俊介）

（記者の質問を通訳者が指点字で伝え、福島さんに口頭で答えてもらいました）

ふくしま・さとし 1962年、神戸市生まれ。83年、東京都立大（現・首都大学東京）に入学、盲ろう者で全国初の大学進学を果たす。東京大先端科学技術研究センター助教授などを経て、2008年から現職。近著は「ぼくの命は言葉とともにある」（致知出版社）。

◇私のあの頃 1980年

全国で校内暴力が頻発し、少年非行が社会問題化した時期だった。この年6月には憲政史上初めて衆参同日選が実施され、自民党が圧勝。モスクワ五輪（夏季）が開かれたが、ソ連のアフガニスタン侵攻などを理由に米国や日本は出場をボイコットした。

国際連合は翌1981年を「国際障害者年」と制定し、「完全参加と平等」をテーマに掲げた。

障害者アスリートを知って 都、新年度からPR事業 東京新聞 2016年1月7日

障害者アスリートの顔と名前をもっと覚えて。2020年東京パラリンピックに向けて、一人一人の選手をより幅広くPRしようと、東京都は6日、雑誌やテレビといったメディアの活用などのため、10億円を新年度予算案に盛り込む方針を決めた。民間企業に委託するなどして、スポーツ雑誌や全国ネットのテレビ番組などで枠を確保し、障害者スポーツの魅力を発信する。

パラリンピック競技の紹介や選手の対談などを企画するほか、東京大会で活躍が期待される若手選手を継続的に取り上げ、「ヒーロー・ヒロインの創出」にもつなげるという。

このほか、有名選手によるデモンストレーションなどを都心部の街中で開き、都民が競

技に触れる機会もつくる。

パラリンピックに向けた機運醸成について、舛添要一知事は本紙のインタビューで、昨年のラグビーワールドカップ（W杯）で活躍した日本代表を例に、「スタープレイヤーがいることは非常に大きい」と強調。メディアで取り上げられることが障害者スポーツの盛り上がりにも効果的だ、との考えを示していた。

袋井で療育施設が改修移転 読売新聞 2016年1月7日 テープカットで施設の開設を祝う関係者

袋井市が整備を進める子育て支援エリア「育ちの森」（同市高尾）に、市子ども早期療育支援センター「はぐくみ」が完成し、開所式が6日、行われた。

はぐくみは、発達障害が疑われる就学前の子どもと保護者を対象に、基本的な生活習慣を身につける訓練などを行う。これまで市北部の施設を暫定的に利用していたが、市中心部の旧袋井保健センターの建物を約8400万円かけて改修して移転した。4月からは、重度の肢体不自由児や知的障害児を支援する教室も始める。

育ちの森には既に、子ども支援室「ぬつく」や、登校が困難な児童生徒のための教育支援センター「ひまわり」、「外国人児童・生徒初期支援教室」などの施設が集約されている。今回のはぐくみの開設で、子どもを一体的に支援するエリアがほぼ完成した。開所式で、原田英之市長は「福祉施設の充実が図られることで、子どもたちが幸せになることを願っている」と述べた。



元捨て猫 今、癒やし役 介護施設に貸し出し 介護施設で駆け回る猫を見て笑顔になる高齢者ら（鹿児島市で）

保健所などで殺処分される猫をどう減らすかが課題となる中、民間団体が保護した野良猫や捨て猫を「セラピー猫」として、福祉施設に貸し出したり、猫カフェで安らぎを提供したりする動きが広がっている。「癒やし効果」を知ってもらうことで引き取り手を増やし、殺処分を少しでも減らす狙いもある。（後田ひろえ）

鹿児島市の介護施設「ひなたの家弐番館」で昨年12月21日、3匹の猫が姿を見せると、車いすに乗った施設利用者的高齢者らは笑顔を見せた。

「路上で保護されたり、保健所から引き取ったりした猫たちです。優しく触ってみてください」。NPO法人「犬猫と共生できる社会をめざす会鹿児島」（鹿児島市）の理事、中村順子さん（54）の呼びかけに応じ、お年寄りたちが抱えたりなでたりしていた。

施設の運営会社専務の日向力さん（35）は「認知症で普段は笑顔を見せない人も穏やかな表情だった。動物が癒やしを与えてくれる良い取り組みだと思う」と語った。

中村さんは経営する鹿児島市の猫カフェ「そら猫」の事業として、福祉施設や事業所に猫を有料で貸し出している。2012年、福祉施設に引き取られた猫が好評だったのがきっかけだ。同店では現在、路上で保護されるなどした19匹が“スタッフ”として待機。客が気に入れば引き取ることもでき、年間50～60匹ほどもらわれていく。

県内では14年度、保健所などに持ち込まれた2341匹が殺処分された。減少傾向にあるものの、犬に比べて引き取り手が少ないのが現状だ。全国での猫の殺処分数は約10万匹（13年度）に上っている。

読売新聞 2016年01月07日



◆「殺処分ゼロ」目指す 猫カフェで飼い主募集

捨て猫を引き取り、飼い主を募集する猫カフェは各地に広がっている。

福岡市の「キューリグ大名店」「キューリグザロフト」は2008年と09年に相次いで開店。オーナーの野村かやのさん（47）らが500～600匹の猫を保護し、癒やしを提供してきた。店が運営費の一部を賄うために募っている寄付金も年々増えている。

この2店には「同居する70歳代の母が猫をかわいがることで元気になった」といった声が寄せられており、今後は専用スペースの設置など条件付きで、高齢者の世帯や施設への譲渡を検討する。野村さんは「助かる猫が増えるだけでなく、高齢者の気持ちも前向きになり、一石二鳥だ」と話している。

福岡県内では、福岡市が13年11月に「犬猫殺処分ゼロへの誓い」を宣言するなど、各自治体が対策を強化。県内で殺処分される猫は04年度の1万1746匹から、13年度は4790匹まで減少した。

一方、熊本市の「キャットシェルターかごにゃん」は、2店舗で約60匹が客を迎える。ほとんどが路上で保護された。店主の西嶋智史さん（31）は「野良猫に会いに来る人がいるのかと思ったが、不幸な猫がたくさんいることを知ってもらおうきっかけになった」と語る。

職場の妊娠報告、周到に 初期・真っ先に上司 安定期・先輩や同僚に 後期・引き継ぎ準備

日本経済新聞 2016年1月4日

働く女性が妊娠したとき、気がかりなのが職場の反応。うまく伝えれば職場の支援を得られるが、コミュニケーションが不足していると思わぬトラブルにもつながりかねない。職場での妊娠報告は、いつ、どんなタイミングですればいいのか。注意点をまとめた。

人材紹介会社に勤務する丸島絢子さん（仮名、32歳）は「妊娠報告をした途端、担当業務を変えられてしまったという友人の話聞いて、不安を感じる」ともらす。こうした事態は、どうすれば回避できるだろうか。

『働くママ』の仕事術の著者で女性向けのキャリアコンサルタントの金沢悦子さんは、「味方を増やすコミュニケーション術を身に付けることが大切」と話す。妊娠報告のケースでは「体調変化の起きるタイミングごとに相手や順番を見極めてこまめなコミュニケーションを進めることが重要」という。 **妊娠は早めに上司に報告する**

まず、妊娠が判明する妊娠6週目から8週目。妊娠初期は流産などのリスクがあり公に報告するのは控えた方が無難とされるが、「上司には真っ先に報告に行くことが大切」と人材育成の研修・セミナーを手掛けるWoomax（東京・千代田）の竹之内幸子社長は言う。

ここから安定期（16週）に入るまでの期間は、つわりなどで体調を崩しがち。事情を伝えずに休みが続けば上司の不信感も募り、その後の仕事に響くこともある。「早めに報告することで、いざという時のサポート体制を整えてもらえれば、双方にメリットが大きい」（竹之内さん）

上司が男性の場合、妊娠による体調変化は理解してもらいにくい。体調不良といっても軽微なものから長期入院を伴うものまで、人によって様々なことを説明しよう。あらゆるケースを想定し、リスクを事前に洗い出しておく作業が必要だ。その上で自分がどのように働きたいのか希望を伝える。無理の無いような勤務体制に見直したり、急な欠勤時の対応方法などを考えたり、職場の状況と自分の希望を擦り合わせよう。



「同時に進めたいのは社内の先輩ママ探し」と金沢さん。会社によって社風や制度は千差万別。働くママ社員への風当たり、復帰してからの働き方など、育児書やインターネットからは得られない情報も多い。復帰後の働き方をイメージすることで、復帰前の不安をぬぐう効果も期待できる。

何より「無理して深夜勤務を続けていたら不正出血を起こしてしまった」「プロジェクトの繁忙期に子どもがインフルエンザにかかってしまい慌てて病児保育を探した」など、「先輩ママの失敗談ほど参考になるものは無い」（金沢さん）という。社内に該当する人がいない場合は職種や社風の近い企業の先輩ママの話聞くのも良さそうだ。

安定期に入り、体調も安定してきたらチームのメンバーにも徐々に妊娠報告をしよう。その際に気をつけなければいけないのが順番だ。つい、気心の知れた同僚から打ち明けてしまいたくなるが、後回しにされると疎外感を感じる先輩・上司も多い。前もって報告・相談することで相手を頼りにしているというメッセージが伝わり、「手助けしてやろう」と

サポートを受けられるケースも多い。

金沢さんによれば「能力の高い女性ほど、周囲に甘えたり頼ったりするのが苦手な人が少なくない」という。しかし、子どもが生まれたら急な欠勤やスケジュールの調整など周囲に頼らざるを得ないことばかり。限られた勤務時間の中でパフォーマンスを最大にするには味方は多いに越したことはない。「根回しは働く女性のたしなみ」（金沢さん）。自分一人で抱え込まず、周囲を巻き込む力を少しずつ身につけていこう。

気をつけたいのは「報告の際に、はしゃぎすぎないこと」（金沢さん）。社内には人知れず不妊治療をしている人など、様々な事情を抱えている人もいる。個人にとっては幸せな報告でも、組織においてはリスク情報の共有と認識し、「ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します」と言う程度にとどめておくのが良さそうだ。

きちんと順を追って報告したにもかかわらず、「妊娠は病気ではない」「早く帰れていいね」など心ない言葉をかけてくる人もいるだろう。悪気は無くとも妊娠・出産に関する正

妊娠後の注意点	
<p>● 初期</p> <p>6週～8週</p> <ul style="list-style-type: none"> 社内調整を速やかに進めるために、早めに上司に報告 体調変化の激しい時期、焦らずゆとりあるスケジュール 職場の先輩ママを探し、経験談を集め今後の参考に 流産などのリスクもあるので公には発表しない方が無難 	
<p>● 安定期</p> <p>16週以降</p> <ul style="list-style-type: none"> 徐々に職場への報告を進めるが、はしゃぎすぎないように つわりが長引くこともあるので油断は禁物 取引先にも今後のサポート体制含め報告 	
<p>● 後期</p> <p>28週以降</p> <ul style="list-style-type: none"> おなかが目立つようになり、移動が大変に 産休取得に向けて、引き継ぎなどの調整 育休からの復帰時期や勤務時間の変更などを相談 <p>(注) 金沢さんの話を基に作成</p>	

しい知識がないことが原因の場合も多い。

マタニティーハラスメント問題に詳しい杉浦浩美・埼玉学園大学専任講師は「妊娠している女性の立場から事情を伝えることが重要」と話す。「無理をして体調が悪化すると長期入院になる人もいる」「早く帰って、自宅で資料作成などをやる」などと、身近な人からでも伝えていこう。

部署の異動や嫌がらせなどの個人で対応しきれないような不利益を受けた場合は、「一人で抱え込まず先輩ママや信頼できる同僚に相談してほしい」と杉浦さん。時間外労働の規制など妊産婦の就労上の権利は法律で守られているので、きちんと会社に対して声を上げ

ることも必要だ。

3歳児の7%が睡眠不足 発育への悪影響懸念

NHK ニュース 2016年1月7日

全国10万人の子どもを対象に環境省が行っている健康調査で、3歳児のうち午後10時以降に就寝する子どもがおよそ30%に上り、7%が睡眠不足の状態にあることが分かりました。発育への悪影響などが懸念されるとして環境省は今後、健康への影響を継続的に調べることにしています。

環境省は生活習慣や化学物質が子どもの健康に与える影響を解明するため、全国のおよそ10万人を対象に胎児から13歳になるまで継続して調査を行っています。開始から5年になるのに合わせて6日、中間的な結果が報告されました。

それによりますと、就寝時刻が午後10時以降の子どもの割合は1歳児で13%、1歳6か月で16%、3歳児で29%に上っていることが分かりました。

また、昼寝を含む1日の睡眠時間が10時間に満たない睡眠不足の子どもの割合は1歳児で3%、1歳6か月で5%、3歳児で7%となっていました。

環境省などによりますと、2歳から5歳までの子どもは早い時間に就寝して10時間から13時間程度の睡眠が適切だとされています。睡眠不足は発育への悪影響や肥満などが懸念されるため、環境省は今後、子どもの健康に与える影響を継続的に調べることにしています。

国立環境研究所の新田裕史調査センター長代行は「睡眠時間が子どもの健康とどう関係するかの解明は今後の課題だ。しっかりした成果を示し、健康や環境の改善に役立てたい」と話しています。



【マイナンバー】ブログやコピーにご用心 罰則も

産経新聞 2016年1月7日

12桁の個人番号を割り当てるマイナンバー制度は、番号の取り扱い次第では思わぬトラブルに発展しかねないので用心が必要だ。ブログなどに自分の番号を公開するのは法律違反となる可能性があり、罰則を科される恐れもある。レンタル店などが顧客の番号のコピーを求めるのも違法行為になる。

マイナンバー法は、定められた目的以外で個人番号を他人に提供することを禁止しており、ブログや短文投稿サイト「ツイッター」に番号を掲載することはできない。罰則はないが、個人情報保護委員会が削除を命令し、従わない場合には「2年以下の懲役または50万円以下の罰金」に問われる可能性がある。昨年10月、ブログで番号を公開した千葉県男性に削除を求めた例がある。

定められた目的以外の番号の収集も禁じられており、「占い」名目で番号の入力を求めるようなインターネットのサイトは制度の悪用だ。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

